

| | |
|--|------------|
| 授業科目 南アジア文化研究特論 | 単位 2単位 |
| 授業担当者 南 真木人 | 授業期間 後期 |
| <p>授業の題目と概要</p> <p>「ネパールの現代政治と社会的包摂」</p> <p>ネパール共産党（マオイスト）による「人民戦争」、制憲議会選挙でのマオイストの勝利を経て、ネパールは2008年、王制が廃止され連邦民主共和国に変わった。しかし、新ネパールの根幹をなす新憲法の制定は進まず、制憲議会は延長を繰り返し、ついに2012年5月に解散した。そうしたなか社会的包摂の民主主義や連邦制という枠組みのなかに確固たる地位を占めようと、先住諸民族やダリット（被差別カースト）、マデシ（タライ地域住民）の人びとは、アイデンティティの政治を急進化させている。ネパールの現代政治における社会的包摂をめぐる問題群を社会運動の過程から考察する。</p> | |
| <p>授業の内容と計画</p> <p>授業は講義と討論で構成する。講義のトピックは以下を予定する。</p> <p>1～2. ネパールの近代史とカースト社会</p> <p>3～4. 「開発」と近代化、排除されてきた人びと</p> <p>5～6. 民主化とエスノ・ナショナリズム</p> <p>7～8. マオイスト運動/政治と民族運動</p> <p>9～10. 社会的包摂と社会運動</p> | |
| <p>使用する参考書、参考論文等： 石井溥編 2005『流動するネパール—地域社会の変容』東京大学出版会。 マンジュシュリ・タパ 2006『ネパールの政治と人権—王政と民主主義のはざままで』（萩原律子・河村真宏監訳）明石書店。 Hutt, M. (ed.) 2004 <i>Himalayan People's War: Nepal's Maoist Rebellion</i>. Bloomington & Indianapolis: Indiana University Press. Karki, A. & D. Seddon (eds.) 2003 <i>The People's War in Nepal: Left Perspective</i>. Delhi: Adroit Publishers.</p> | |
| <p>成績評価基準</p> <p>講義に広く関連する本を履修者個別に取り上げ、その書評論文レポートで評価する。</p> | |
| <p>その他の留意事項</p> | |

英語タイトル Current Politics toward Social Inclusion in Nepal